

## 4-1-14 栄養管理部

栄養管理部では入院中の患者様の病気や症状に適した食事を作っている。

又、入院、外来の患者様を対象に医師の指示のもとで疾病の治療と予防を含め、適切な食事の指導、相談に応じている。

### 「栄養管理部の理念」

医師を中心としたチーム医療の一翼を担う部門として、適切な食事の提供と栄養食事指導の実践に基づいた成育医療に貢献する

### 「栄養管理部の基本方針」

- 1 患者個々に適合した食事の提供
- 2 患者の健康回復を図るため栄養の質と量の調整
- 3 栄養部職員は患者へ貢献し信頼、満足を得られるよう努める
- 4 成育医療の栄養に関する情報の発信

## 1. 栄養管理部の概況

栄養管理部に従事する職員については、栄養管理部長（副院長併任）が総括し、管理栄養士（4名）調理師（12名）調理助手（2名）で組織されている。

食器洗浄及び一部配膳業務等については委託を行っている。

## 2. 入院中の食事について

### 2.1 食事時間

朝食は7時、昼食は12時、夕食は18時である。検査のために食事時間内に摂れない方は随時、軽食を提供している。

### 2.2 食事内容

全て医師のオーダーによる食事を用意している。又、患者様の症状や摂食機能を考慮した食事を提供している。

・主食は希望によりパン食、麺類を用意している。

・普通食は水曜日、木曜日、金曜日の昼食、夕食に複数の料理から選択できる選択メニュー食を実施しております、ベッドサイド端末に表示される料理画像（うなぎ蒲焼・煮込みハンバーグなど）から選択ができるシステムとなっている。

・温冷配膳車を使用しているので、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいまま美味しく食べていただける。

・各病棟に病棟食堂を設けてある。患者様の病気の状態により病室でも召し上がれる。

### 2.3 お祝い膳

産科病棟においてご出産された方を対象に、特別メニューによる「祝膳」のサービスを平成14年5月より実施しているが、当院の特色として、病棟からの依頼を受けた後担当調理師による独創的な料理と心にくいデザートを作成し、直接お部屋までワゴンサービスを行っている。

#### お祝い膳（実績）

|        |        |
|--------|--------|
| 平成14年度 | 908人   |
| 平成15年度 | 1,360人 |

### 3. 給食数

15年度の給食延べ数は339,758食である。内訳として一般食比率は43.8%、非加算特別食は48.5%、加算特別食は7.7%、又、食種別食数比率は表のとおりで、ミルク食が23.1%と一番多い食種となっている。

平成15年度食種別食数実績（給食延べ数）

|        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 常食     | 妊産婦食   | 学童食    | 幼児食    | 離乳食    | ミルク食   |
| 24,170 | 54,651 | 58,965 | 45,898 | 15,622 | 78,349 |
| 7.1%   | 16.1%  | 17.4%  | 13.5%  | 4.6%   | 23.1%  |
| 全粥食    | 分粥食    | アレルギー  | 濃厚流動食  | きざみ食   | ペースト食  |
| 3,843  | 4,790  | 18,527 | 17,261 | 2,206  | 4,010  |
| 1.1%   | 1.4%   | 5.5%   | 5.1%   | 0.6%   | 1.2%   |
| 水分補給   | E食     | PN食    | F食     | 術前食    | その他    |
| 1,160  | 2,085  | 4,872  | 1,433  | 1,158  | 758    |
| 0.3%   | 0.6%   | 1.4%   | 0.4%   | 0.4%   | 0.2%   |

ミルク等調乳本数の推移

|        |          |
|--------|----------|
| 平成14年度 | 445,000本 |
| 平成15年度 | 499,670本 |

### 4. 栄養食事指導件数

栄養食事指導の実施については、各診療科医師からの指示を受け、電子カルテシステムの予約枠に予約していただくことにより実施されるが、今年度は1,047人のご相談をお受けすることができた。

一度栄養食事指導の指示を受け、継続の必要性がある患者様等については、病棟訪問を行うことにより食生活の改善と食行動の是正に繋がるよう努めてきた。

また、外来における乳幼児健診及び発達外来の栄養相談に携わり、今後とも栄養に関する育児支援に対し、積極的に取り組んでいきたい。

集団指導の項目としては、母親教室・産後教室が挙げられているが、その殆どが母親教室である。

栄養食事指導実施状況

| 区分    | 個人指導 |     | 集団指導 |     | 病棟訪問件数 |
|-------|------|-----|------|-----|--------|
|       | 算定   | 非算定 | 算定   | 非算定 |        |
| H14年度 | 149  | 514 | 0    | 283 | 849    |
| H15年度 | 178  | 537 | 0    | 332 | 524    |

### 5. 研究活動

厚生労働科学研究費助成金（子ども家庭総合研究事業）

「育児不安の軽減に向けた低出生体重児の栄養のあり方に関する研究」

厚生労働科学研究費助成金（子ども家庭総合研究事業）

「小児科領域における栄養ケアシステム/協働モデルの開発」